

「歴史戦争」を挑発し始めた北朝鮮と韓国

2018.10.21（下條）

1. はじまりは平昌冬季オリンピックの「統一旗」
 - (1) 南北の接近
 - (2) 南北の民族的同一性強調の手段（竹島問題）

2. 「3・1節」での文在寅大統領の行動
 - (1) 西大門刑務所跡と「太極旗」
 - (2) 「日章旗」と「太極旗」→文一平「太極旗の模様は宮本小一の提案」
 - (3) 観艦式に登場した最古の太極旗、米国人オーウェン・デニーの太極旗（1890年）

3. 国際観艦式と「旭日旗」
 - (1) 戦犯旗としての旭日旗→歴史カードを切った韓国→座乗艦として独島艦使用
 - (2) 徐敬徳氏の活動と保坂裕二氏の発言→法制化
 - (3) 共に民主党報道官の発言→二等国家
 - (4) 李洛淵首相の発言→国民感情

4. 歴史的歴史認識の再登場
 - (1) 五千年の歴史
 - (2) 開天節（10月3日）と檀君神話
 - (3) 10月22日、韓国の教育委員会所属の国会議員、竹島現地査察計画

5. 日本の反応
 - (1) 10月15日、自民党の「領土に関する特命委員会」、安倍総理に決議文提出
 - (2) 安倍首相、「関係各部署に精密な調査をするようにし、必要な措置をとる」
 - (3) 尖閣・北方領土問題は、「竹島の日」以降、中露が戦略的対応